

～より愛され・親しまれる“瀬戸内海国立公園”の実現に向けて～

**I 瀬戸内海国立公園の景勝地利・活用のための調査について**

瀬戸内海国立公園区域内には多くの景勝地が存在するが、多くの人には鷺羽山、瀬の浦、宮島など第一級の景勝地以外余り知られておらず、貴重な資源が活かされていない。現在、環境省の中国四国地方環境事務所で、瀬戸内海国立公園内展望地の整備・格付けが行われておられるが、早急に調査の取り組みを行い、瀬戸内海の眺望の魅力を地域内外に広く知らしめること。

**II 瀬戸内海国立公園の自然環境と景観の保全について**

瀬戸内海国立公園内のすぐれた自然環境とすばらしい景観については、特別地域として環境省により種類別に区分けし、管理されている。環境省では、平成16年度に「瀬戸内海自然資源保全管理戦略調査」により、瀬戸内海国立公園の全サイトの自然環境の現状把握等の実態調査が実施されており、この調査結果を活かすためにも可及的速やかに、自然環境のカルテ作りの本格的調査を行い、貴重な資源の保全に役立つものとしていただきたい。

**III 瀬戸内海国立公園に誇りと愛着を育てる取り組みについて**

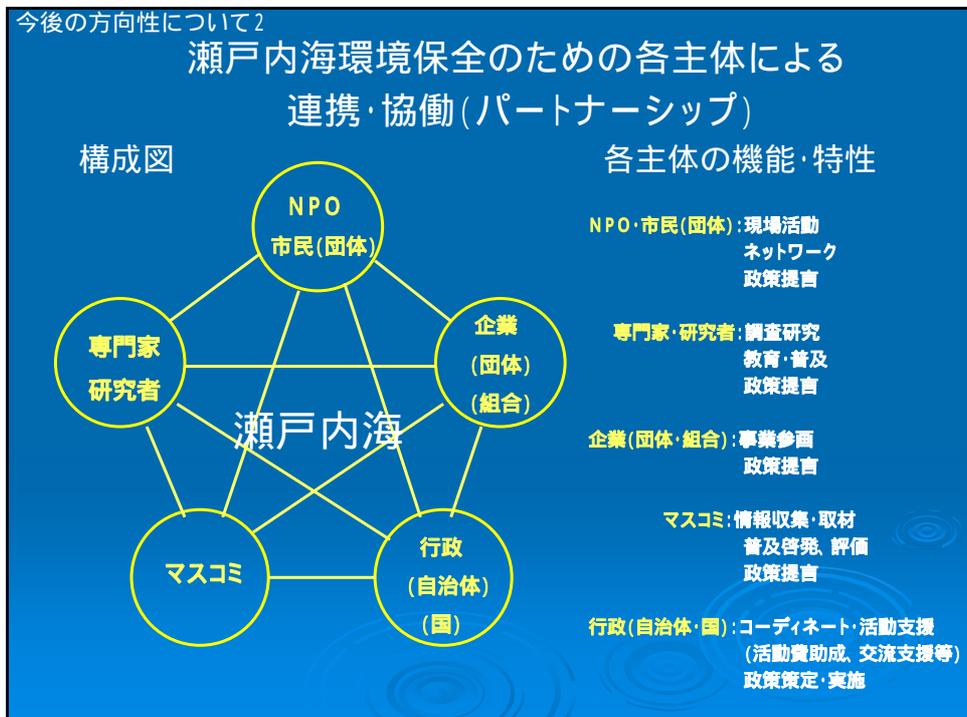
瀬戸内海国立公園の素晴らしい景色を後世に継承していくためには、小・中学生など次世代層を中心に、早い時期から瀬戸内海国立公園に誇りと愛着を醸成させる取り組みが必要である。そのためには、地元の小・中学校の教育の場に瀬戸内海国立公園を体験できる時間を設け、センターセンター等の活用を図っていくことが肝要である。また子供たちが、誇りと愛情を持って景勝地を守っておられる地元の方の活動に接することは、心に感動が育まれることとなるので、このような地元の方の活動が継続・発展できるよう支援活動をお願いしたい。

2006.2.25 水曜 中国経済連合会  
瀬戸内海国立公園  
景勝地一体的PRを  
中経環境省事務所に提言

**中国経済連合会  
<提言>**

2006年2月24日

**誇りと愛情・愛着をもって瀬戸内海  
を守っている地元の方々の活動が  
継続・発展できるよう支援を要請**



## 瀬戸内海環境保全にかかる国地方機関の最近の動き ＜連携と役割分担＞

### 環境省中国四国地方環境事務所

- ・瀬戸内海の展望地再生・カルテ作成(国立公園・保全整備課) H14～
- ・瀬戸内海海ゴミ対策検討(廃棄物リサイクル課・国立公園課) H18～
- ・瀬戸内海海岸線3000キロモニタリング(アクティビティ) H17～
- ・瀬戸内海超長期モニタリング手法研究(統括企画官) H19新規要中  
(広島工大(上嶋先生)、愛媛大沿岸環境研究センター、産総研中国センターほか)



子どもたちによる  
モニタリング

### 国土交通省中国地方整備局

- ・瀬戸内海環境修復計画策定(企画部・港湾空港部及び水産庁連携) H18
- ・備讃瀬戸環境修復計画策定調査(宇野港湾事務所及び四国整備局連携) H18～
- ・広島湾再生行動計画策定(企画部(広島湾再生推進会議)) H17～
- ・沿岸域環境情報活用(瀬戸内海環境情報センター)検討調査(港湾空港技術調査事務所) H17～

### 国土交通省中国運輸局

- ・環境負荷に配慮した瀬戸内海スローツーリズム推進(企画振興部) H17～

### 経済産業省中国経済産業局

- ・産学官連携による瀬戸内海域環境浄化・修復の推進(資源エネルギー環境部) H15～

## まとめ及び直近の課題

- 主体をつなぐ・地域をつなぐ・施策をつなぐ  
プラス 世代をつなぐようなパートナーシップ形成を発展
- そのためには、瀬戸内海1千万人(流域3千万人)の地元の方々がもっと誇りと愛情・愛着をもって取り組む必要
- 行政はそれに対して更なる支援を
- これを「瀬戸内海方式」として定着させ
- さらに、国土形成計画の広域地方計画に反映を検討
- 行政機関やNPO等は、連携・協働してこれに対処する方向で調整できるかが問われているのでは





審議会委員各位には  
今後ともご指導のほど  
よろしくお願い申し上げます。



**よみがえれ瀬戸内海！**

写真：豊島の不法投棄現場沿岸によみがえったアマモ大群落（現在）

写真提供：山陽新聞社瀬戸内海取材班